

薬学研究科吉田浩子講師が第 61 回米保健物理学会年会にて Dade Moeller 賞を受賞しました

第 61 回米保健物理学会(Health Physics Society)年会が米 Spokane にて 7 月 17~21 日に開催され、吉田浩子講師が Dade Moeller 賞を受賞し、"What Has Changed and What Has Not Changed: The Consequences of Remediation in Evacuation Areas Caused by the Fukushima Accident"の演題で講演しました。

Dade Moeller 賞は、放射線に関する科学及び工学分野においてすぐれた実績のある専門家に贈られるもので、受賞者は学会年会で会員に講演を行います。今回、日本人初の名誉ある受賞となりました。

